

東北地方 1か月予報

(3月3日から4月2日までの天候見通し)

平成19年3月2日
仙台管区気象台発表

<特に注意を要する事項>

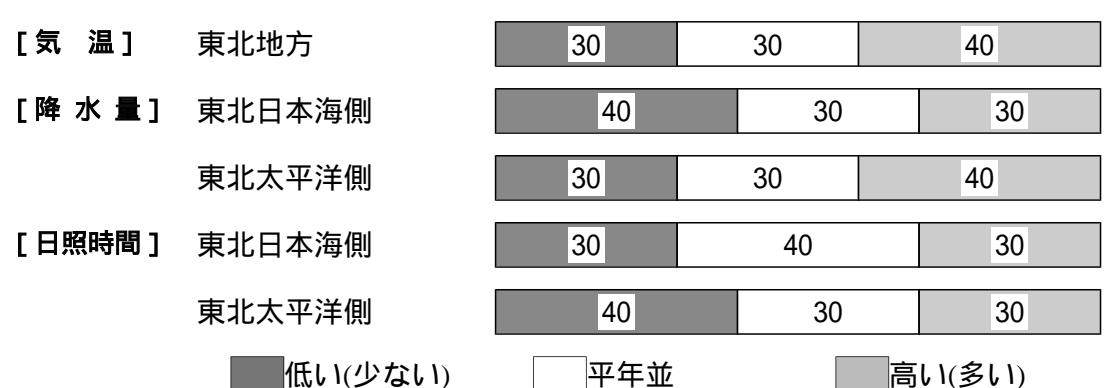
1週目から2週目にかけて、高温傾向から平年並～低温傾向に変わるでしょう。

<予想される向こう1か月の天候>

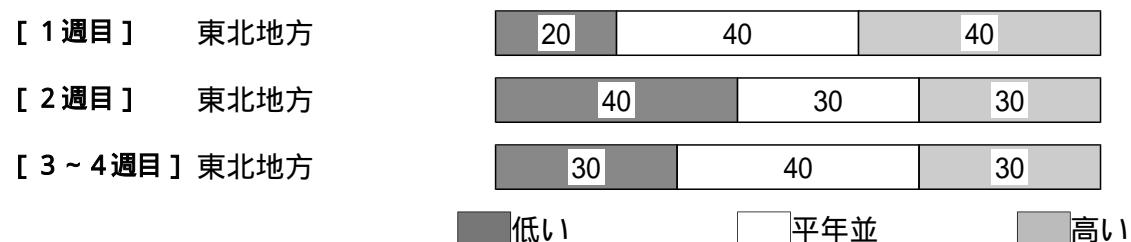
向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。
東北日本海側では平年と同様に曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側では平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

週別の気温は、1週目は平年並または高い確率がともに40%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

1か月 : 3月 3日(土)～4月 2日(月)
1週目 : 3月 3日(土)～3月 9日(金)
2週目 : 3月 10日(土)～3月 16日(金)
3～4週目 : 3月 17日(土)～3月 30日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は3月9日
3か月予報：3月22日(木) 14時

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温()	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温()		
				1週目	2週目	3~4週目
青森	2.3	68.4	146.9	0.6	1.4	3.1
深浦	3.0	80.2	125.3	1.3	2.1	3.7
むつ	1.7	76.4	157.7	0.0	0.8	2.5
八戸	2.6	51.2	176.3	0.8	1.7	3.4
秋田	3.6	94.5	140.5	1.8	2.6	4.3
盛岡	2.2	81.1	168.7	0.3	1.2	3.0
大船渡	3.8	97.0	170.8	2.2	3.0	4.4
宮古	3.3	89.9	184.7	1.7	2.5	4.0
仙台	4.8	75.2	184.5	3.3	4.0	5.5
石巻	4.0	72.1	191.0	2.5	3.2	4.7
山形	3.4	66.4	150.2	1.6	2.5	4.2
新庄	2.2	110.0	120.6	0.7	1.5	2.9
酒田	4.5	102.2	131.3	2.9	3.7	5.2
福島	5.2	77.1	180.6	3.5	4.3	5.9
若松	3.3	64.3	143.6	1.4	2.4	4.2
白河	3.9	74.4	183.3	2.2	3.1	4.6
小名浜	6.4	109.3	188.5	5.1	5.8	7.0

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.3 ~ +0.4	84 ~ 112	95 ~ 107
東北日本海側	-0.4 ~ +0.4	88 ~ 108	93 ~ 106
東北太平洋側	-0.3 ~ +0.4	80 ~ 119	96 ~ 107

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.6 ~ +0.6	-0.6 ~ +0.7	-0.3 ~ +0.5
東北日本海側	-0.6 ~ +0.6	-0.6 ~ +0.6	-0.3 ~ +0.5
東北太平洋側	-0.7 ~ +0.6	-0.7 ~ +0.6	-0.3 ~ +0.5

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成19年3月2日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(3月3日~4月2日):

天気は数日の周期で変わらるでしょう。東北日本海側では平年と同様に曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側では平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

1週目(3月3日~3月9日):

東北日本海側では期間のはじめは高気圧に覆われて晴れます、その後は気圧の谷や寒気の影響で雪や雨が降るでしょう。東北太平洋側では高気圧に覆われて沿岸部を中心におおむね晴れますが、期間の中頃は気圧の谷の影響で雨や雪が降る見込みです。なお、5日から6日にかけて発達した低気圧の影響で荒れた天気となる恐れがあります。

平均気温は平年並または高い確率がともに40%です。

2週目(3月10日~3月16日):

天気は数日の周期で変わりますが、一時的に寒気が南下し、冬型の気圧配置となる日もあるでしょう。東北日本海側では平年と同様に曇りや雨の日が多く、東北太平洋側では平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

3~4週目(3月17日~3月30日):

天気は数日の周期で変わらるでしょう。東北日本海側では平年と同様に曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側では平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

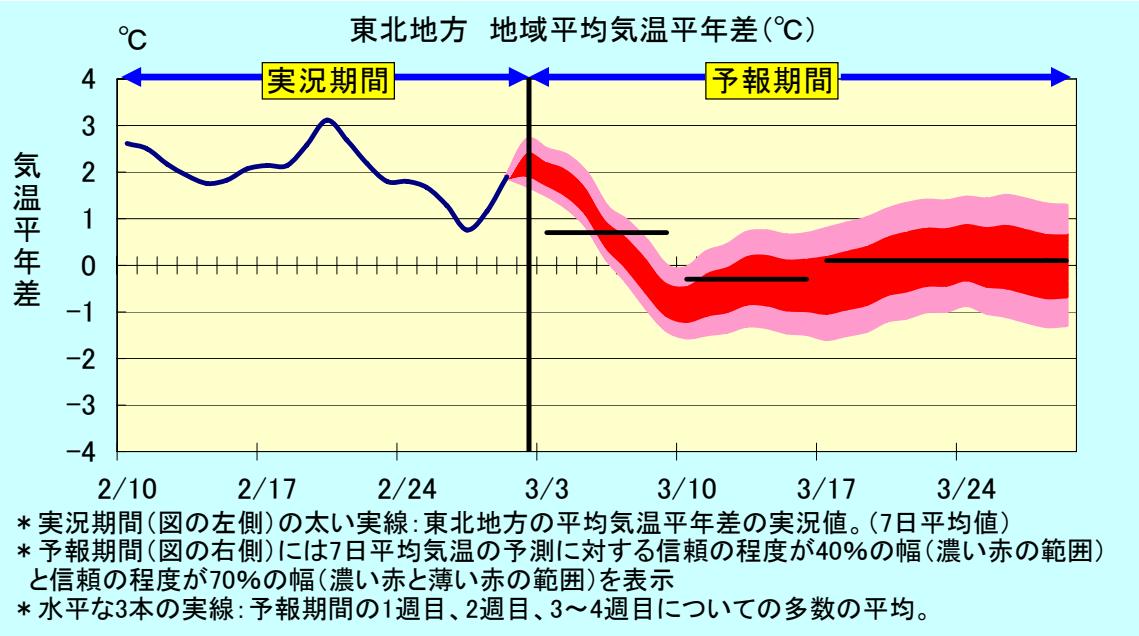
平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	12.3日	2.6日	2.8日	6.9日
東北太平洋側	18.0日	4.7日	4.5日	8.8日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別のアンサンブル平均気温は、1週目は平年を上回り、2週目と3~4週目は平年並付近の予想となっている。なお、数値予報の信頼度は小さい。

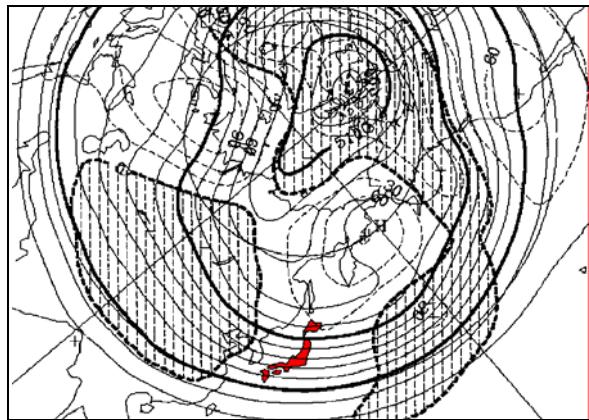


3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500 hPa 予想天気図)

1か月平均: 日本の北からベーリング海付近には明瞭な正偏差が分布し、カムチャツカ半島の東には高圧部がある。中緯度は大西洋から太平洋にかけて正偏差と負偏差が交互にならび、日本付近は正偏差となっているが、日本付近の偏差の程度は弱い。

1週目: 中緯度は大西洋から太平洋にかけて正偏差と負偏差が交互にならび、日本付近は東海上を中心とした正偏差域に覆われている。日本付近の偏西風の流れは南寄りの成分をもっているため、低気圧が発達しやすい。また、ベーリング海ではブロッキング高気圧が発達している。東北地方に持続的に強い寒気が南下する可能性は小さい。

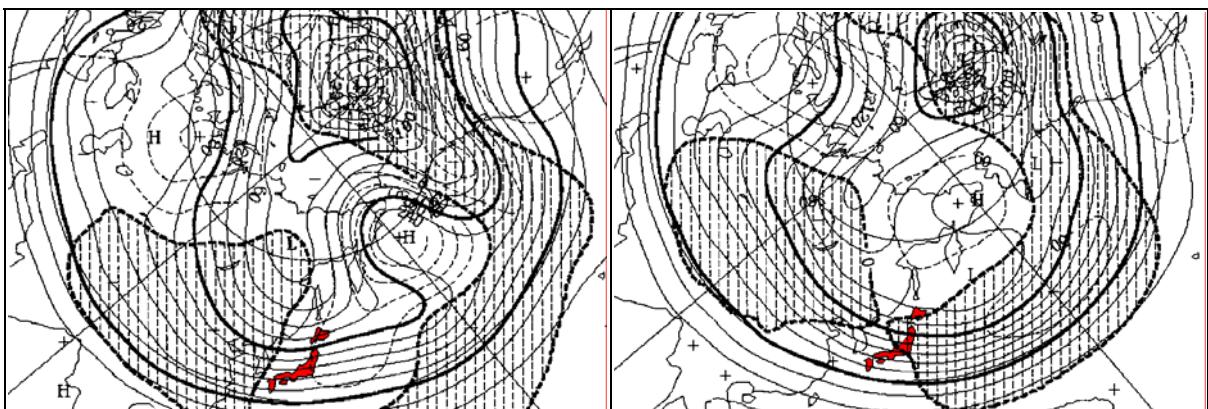
2週目: 1週目にベーリング海で発達したブロッキング高気圧が2週目にかけて西進する可能性が高い。これにより北太平洋の偏西風は南下しやすくなり、太平洋中部を中心に負偏差となっている。東北地方は太平洋からのびる負偏差域内に入っている。このため、一時的に寒気が南下し、冬型の気圧配置となる日もある見込み。



1か月平均 500hPa 予想天気図

(図の見方は1, 2週目と同じ)

ただし平年差の間隔は 30m 毎)



1週目平均 500 hPa 予想天気図

2週目平均 500 hPa 予想天気図

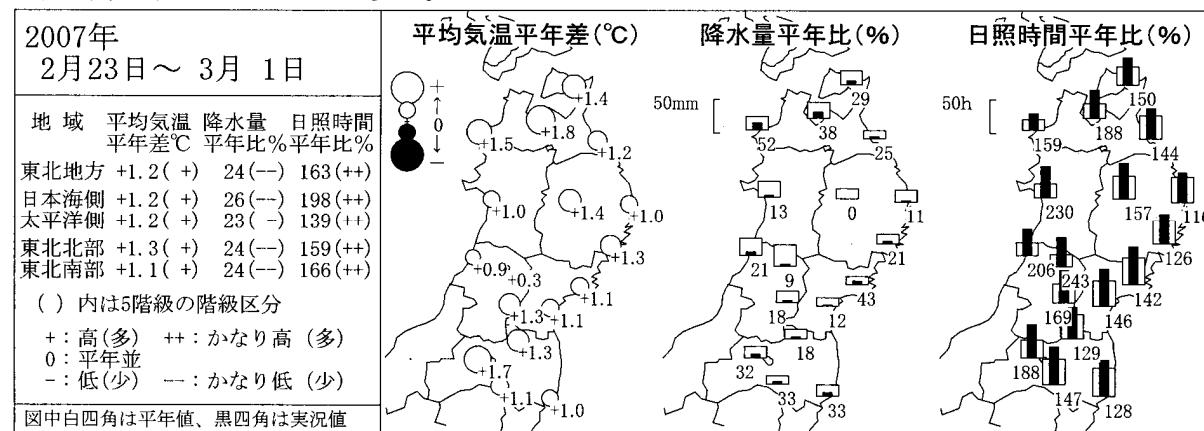
実線は、等高度線（間隔 60m）、点線は、平年差（間隔 60m）

陰影部は、負偏差で一般に寒気に対応する 白抜きは、正偏差で一般に暖気に対応する

4. 最近1週間（2月23日～3月1日）の天候の経過

この期間、冬型の気圧配置となる日が少なく、東北地方の天気は数日の周期で変化し、移動性高気圧に覆われる日も多かった。このため、東北地方の日照時間はかなり多く、東北日本海側の降雪量は極端に少なかった。23日は東北地方を前線が通過したため広範囲で天気がぐずついた。

平均気温は東北地方で高い。降水量は東北日本海側でかなり少なく、東北太平洋側で少ない。日照時間は東北地方でかなり多い。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）